

ぱーとなー

2007年5月
第66号

耳原総合病院の理念

耳原総合病院はこんな医療をめざしています
安全・安心・信頼の医療
私たちは患者様とともに力を合わせて医療をすすめます
無差別平等の医療
私たちは人権を尊重した医療をすすめます
患者負担の少ない医療
私たちは室料差額はいただきません
地域とともに歩む専門職の育成
人権感覚をもつ専門職を養成します

アスベスト関連疾患について！

アスベスト（石綿）は、その耐久性、断熱性、易加工性などから「奇跡の鉱物」として、日本では古くは江戸時代から使用されてきました。1970年代にその発癌性が判明してから、WHO（世界保健機関）、ILO（国際労働機関）などを中心に、世界的に使用禁止の方向が位置づけられてきましたが、日本は他国に比べてその対応が10年遅れ、その間も多数の方々がアスベストの曝露を受けてきました。



石綿（クロシドライト 写真提供 大阪府立公衆衛生研究所）

職業曝露ばかりが問題にされがちですが、様々な建材や工業製品にアスベストは使用されており、壮年期以降の方では、環境曝露としてアスベストの曝露を受けていない方はいないと言われるほど、私達の生活の周囲はアスベストであふれかえっています。

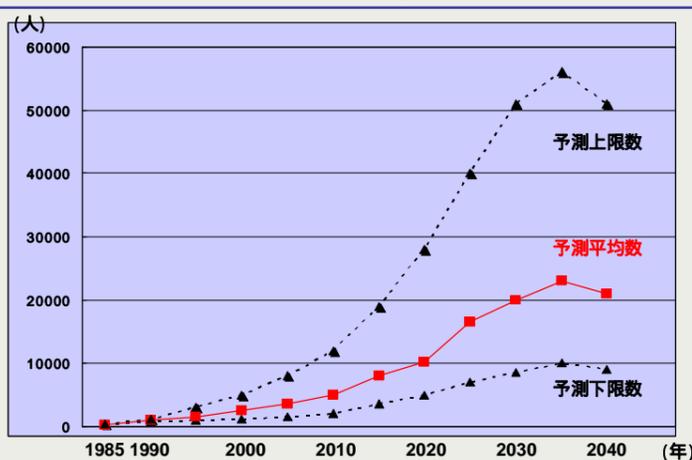
アスベスト関連疾患であるじん肺（石綿肺）、中皮腫、肺癌、びまん性胸膜肥厚、良性石綿胸水など、いずれもアスベスト曝露を受けてから20年以上の経過を経て発症するため、高度経済成長期にアスベスト曝露を受けた方々が、今になって様々な疾患を発症しているのが現状です。団塊の世代を中心に、今後爆発的に罹患者が増えてくることが予想されます。

アスベスト関連疾患として、以下のような疾患があります。

じん肺（石綿肺）：高濃度のアスベスト曝露により生じる細気管支周囲から始まるびまん性間質性肺炎です。緩徐進行性で、徐々に拘束性の肺障害を生じてきます。積極的にHR-CTを行うことで、早期発見が可能です。

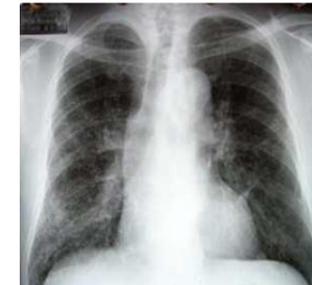
中皮腫：胸膜原発が多いですが、腹膜、心膜などに生じることもある悪性腫瘍です。

胸膜中皮腫による死亡者数の予測

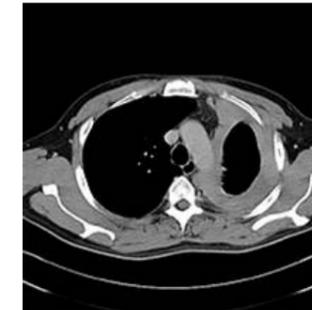


胸水貯留や胸痛により発症することが多いです。診断のためには病理組織診断が必須で、とくに胸腔鏡下胸膜生検が有用です。当院では胸腔鏡下手術の技術を生かして、早期発見に努めています。早期病変に対しては手術が行われることがありますが、化学療法が治療の主体となります。きわめて予後の悪い疾患で、発症からの平均予後は2年以下です。

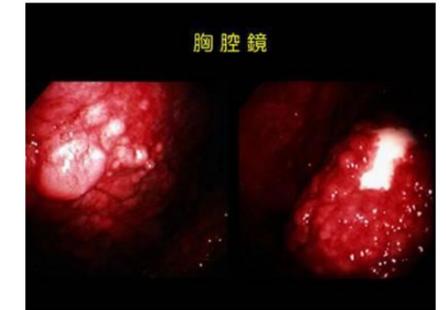
肺癌：他にも発癌因子が多い疾患であるため、アスベストの関連の証明が難しいのですが、当院では消化法により石綿繊維のカウントを行うことで、通常の病理組織学的検査では証明されないような段階でも、アスベストの関連が証明できるように取り組んでいます。



石綿肺



胸膜中皮腫術中所見



胸腔鏡

当院では医療福祉相談室の担当者とも相談しながら、患者様の費用負担を少しでも少なくするために、積極的に公費負担、社会資源の活用に取り組んでおります。ただ実際には、アスベスト関連疾患はその診断に難渋するだけでなく、診断がついて以降に利用できる社会資源も多岐にわたってきています。

じん肺の管理区分申請から、労災申請、また、いわゆるアスベスト新法による救済給付など、どの社会資源を利用できるのか、どの認定基準を満たしているのかなどの判断にも専門的な知識、検査が必要です。

患者様の病歴や、職業歴、胸部レントゲンなどで、少しでも疑いを持たれましたら、診断、検査について積極的にご検討ください。ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。呼吸器専門の認定産業医がご相談にあたらせていただきます。

耳原総合病院地域医療室
電話 072-241-0324
Fax 072-241-0208
Fax 072-241-0670

受付時間 月・水・金 午前9:00～午後7:00
火・木 午前9:00～午後5:00
土 午前9:00～午後1:00

お電話で患者さまのご都合に合わせて予約いただけます。

折り返しFAXにて予約票をお送りします。

事前にカルテを準備してお待ちします。

カルテ作成に必要な情報をFAXして下さい。

予約当日、患者さまが受診の際

保険証 診療情報提供書 上記予約票をご持参下さい。